

第2号議案

道路改築事業

あがつまにし
国道145号 吾妻西バイパス

ひがしあがつま まつや あつだ
東吾妻町松谷～厚田

着工年度
評価理由

平成21年度
社会的状況の変化

1. 事業の目的

国道145号吾妻西バイパスは、「上信自動車道」の一部として、吾妻地域から関越自動車道等とのアクセス向上により、観光誘客や物流の効率化による地域経済活性化や医療施設への搬送時間の短縮等を図るために事業実施するものである。

また、ハッ場ダム地域の生活再建にとっても欠かせない道路となっている。

【上信自動車道全体の効果】

医療施設への搬送時間の短縮

・吾妻地域から群馬県の総合周産期母子医療施設への
1時間圏域人口が約9千人増加
【約24千人 約33千人】

関越自動車道へのアクセス向上

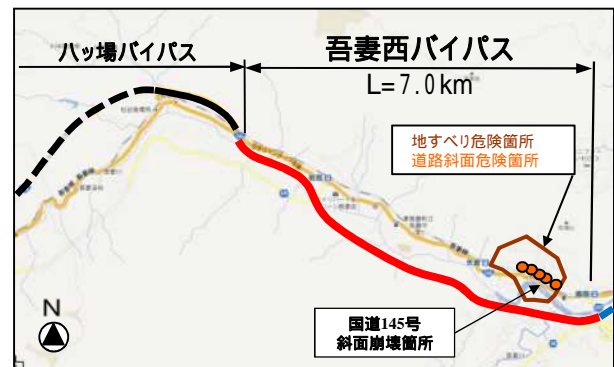
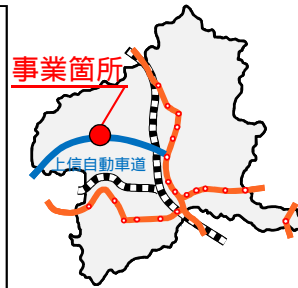
・関越自動車道 渋川伊香保ICから草津温泉へのアクセス
時間が約30分短縮【約90分 約60分】

ハッ場ダム地域の生活再建を支援

【上信自動車道 吾妻西バイパスの効果】

国道145号の通行の安全の確保

・道路斜面危険箇所5箇所及び
地すべり危険箇所1箇所を回避



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	ひがしあがつま まつや あつだ 東吾妻町松谷～厚田	
区分	前回再評価時	今回再評価時
全体事業費	9,700百万円	12,400百万円
全体事業費増減の理由		文化財調査の増
事業期間	H21～H30	H21～H33
事業内容	道路延長 7,000m 幅員 10.5m	道路延長 7,000m 幅員 10.5m

事業経緯

年度	主な経緯
H21	事業着手
H24	用地買収着手
H25	工事着手

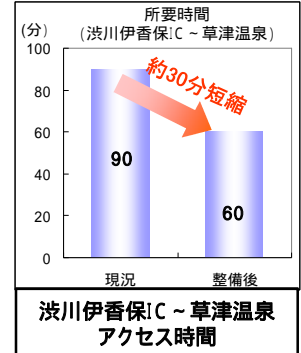
進捗状況

	全体計画	前回評価時の進捗状況(進捗率)	現在の進捗状況(進捗率)
事業費	12,400百万円	2,236百万円 (18.0%)	5,754百万円 (46.4%)
用地買収	209,919m ²	89,400m ² (42.6%)	171,473m ² (81.7%)
計画延長	7,000m	0m (0.0%)	0m (0.0%)

3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

吾妻地域と県央地域間の移動時間は改善されておらず、地域高規格道路の整備により、物流・観光等の地域間交流の活性化や、医療施設への患者搬送時間の短縮が望まれており、事業の目的・必要性に変化はない。

国道145号(東吾妻町岩島～郷原付近)は、道路斜面危険箇所5箇所及び地すべり危険箇所1箇所が存在しており、第1次緊急輸送道路でありながら、吾妻川沿いに県道以上の複数路線が確保されておらず、この代替機能を確保する必要性は依然として高い。



4. 目的を達成するための事業(手段)は適切か？

本バイパスは上信自動車道の一部として整備しており、高速道路網が未整備である吾妻地域のアクセス向上には欠かせない道路であり、一連区間で整備することにより、吾妻地域の活性化に大きな効果が期待できる。本バイパス事業に並行する国道145号の沿線には災害危険箇所があり、たびたび土砂流出等により通行止が発生していることから、災害緊急時における代替機能を確保できるバイパス整備が有効である。このため、目的を達成するための手段として適当であると考えられる。

【事業費の増加要因】

用地買収後の試掘結果に伴う調査範囲の拡大による。[11遺跡の追加(4遺跡 15遺跡(内2遺跡は未試掘)]

費用便益分析

単位:千円

		前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局、都市・地域整備局 平成20年11月		費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局、都市・地域整備局 平成20年11月			
基準年		平成25年		平成28年			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	8,277,000	92.7%	11,645,000	94.8%		事業費増加による
	維持管理費	656,000	7.3%	637,000	5.2%		
費用合計(C)		8,933,000		12,282,000			
便益 (千円)	走行時間短縮便益	8,950,000	71.7%	12,571,000	78.7%		道路ネットワークの追加 【吾妻東BP2期】
	交通事故減少便益	1,831,000	14.7%	969,000	6.1%		
	走行経費減少便益	1,694,000	13.6%	2,425,000	15.2%		
便益合計(B)		12,475,000		15,965,000			
費用対効果分析(B/C)		1.40		1.30			

5. 事業が長期間要している理由は？

【元々が長期計画

不測の事態により長期化】

【元々が長期計画の理由】

インターチェンジごとに開通目標を設定して計画的に事業を推進しているが、事業延長L=7.0km、全体事業費97億円(変更前)と事業規模が大きく、地元調整、用地取得、埋蔵文化財調査及び工事完成までに長期間を要する計画となっている。

【不測の事態により長期化した理由】

用地取得において、一部地権者との交渉難航や、移転先代替地の選定に期間を要しており、3年間の不測の期間を要する見込みである。

6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし

事業計画の変更

スケジュールの変更

国道145号吾妻西バイパスは、「上信自動車道」の一部として、吾妻地域から関越自動車道等とのアクセス向上により、観光誘客や物流の効率化による地域経済活性化や、医療施設への搬送時間の短縮等を図るために事業実施するものである。

また、ハッ場ダムの生活再建にとっても欠かせない道路となっている。

国道145号は、道路斜面危険箇所5箇所及び地すべり危険箇所1箇所が存在しており、第1次緊急輸送道路でありながら、吾妻川沿いに県道以上の複数路線が確保されておらず、この代替機能を確保する必要性は高く、吾妻地域の地域経済の活性化に資する上信自動車道の整備が急務である状況に変化はない。

事業実施にあたり、地元市町長村や地域住民との合意形成に努めた結果、道路計画についての同意が得られたことから、平成24年度に用地買収に着手し、平成25年度から橋梁工事に着手した。

用地取得の状況は約82%となっているが、東吾妻町大字厚田～岩下間の4.7km区間の、一部地権者との交渉が難航(事業への理解が得られていないこと、相続人多数の共有地の未解決)しており、任意交渉と合わせて土地収用法の手続きを進め、平成31年度の部分開通を目指し事業を進めている。

また、残る2.3km区間については、家屋移転先の選定に期間を要しており、移転後の文化財調査及び工事工程を勘案し平成33年度の開通を目指し進めている。

整備推進にあたっては、施工に長期間を要する構造物の先行着手や切土、盛土工事のバランスを考慮した着手を行い効率的な施工となるよう努めている。

以上から本事業の必要性、重要性は高く、事業を継続実施し、早期に効果発現を図ることが適切であると考える。